

ニュース アカサカ

NEWS AKASAKA

116
2011.1



100年技術、更なる進化へ

創業100年 記念号



目 次

ごあいさつ…………… 1

100年の歴史

現 在

赤阪鐵工所の工場紹介
焼津で創業して100年…………… 2

アカサカトータル運航システム ラインアップ
海の世界に貢献…………… 6

アカサカネットワークの紹介
国内営業体制 国内サービス体制
海外営業体制 営業管理体制 海外サービス体制… 14

陸上機械製品の紹介
物造りの技術を活かして…………… 20

歴 史

アカサカエンジン製造の変遷
更なる高出力化・高信頼性を求めて…………… 24

アカサカのあゆみ
創業から100年…………… 28

アカサカ歴史記念物の紹介
先達の偉業を偲ぶ…………… 34

100年の技術

新機種・新システム

AX33B形機関・AX31形機関の開発
AXシリーズ機関の充実…………… 38

6UEC43LS II 形機関 完成
7UEC45LA形機関の代替機種…………… 40

UEC-LSEシリーズ
赤阪-三菱UEディーゼル機関 最新シリーズの紹介 … 42

エンジンテレグラフ
省配線システムへの取り組み…………… 45

アカサカ機関管理システム ACSS
高度船舶安全管理の実現…………… 46

MPLシステム
新シリンダ注油方式の紹介…………… 50

電子制御エンジンへの取り組み…………… 52

環 境

EMS 環境経営 エコステージ認証取得
環境マネジメントシステムの構築に向けて … 54

CO₂削減への取り組み
低炭素社会の実現に向けて…………… 57

NOx削減への取り組み
NOx2次規制への対応と3次規制対応技術の紹介… 60

PM削減への取り組み
船用ディーゼル機関用排ガス脱塵装置(DPF)の開発… 62

音・振動技術への取り組み
船舶の振動・騒音低減に向けて…………… 66

品 質

品質への取り組み
創業100年 次の時代に向けて…………… 68

品質保証グループ…………… 68

技術開発グループ…………… 70

ディーゼル技術グループ…………… 71

鑄造グループ…………… 72

機械グループ…………… 74

製品グループ…………… 76

サービスグループ…………… 78

展示会出展

SEA JAPAN 2010、ベトシップ2010、APM 2010 出展報告
国際海事展にて当社製品をPR…………… 80

創業100年行事

創業100年記念式典を挙…………… 82

トピックス

ちょっとブレイク
鯉と焼津…………… 83

主機関一覧表…………… 84



表紙写真

「中港工場と焼津港」

赤阪鐵工所は焼津の町と共に、そして漁業界の伸張と共に発展し、海運界の皆様を支えられ、昨年5月に創業100年を迎えました。写真は焼津市内の北寄りにある高草山から南を望んだ景色です。

写真中央にある工場一帯が当社の中港工場です。写真手前に東名高速道、工場敷地手前側をJR東海道本線が走っており、その中間に東海道新幹線と国道150号線が並行しています。工場の向こう側に見えるのが旧焼津漁港で、その先に焼津新港が広がり旧小川漁港まで繋がっています。写真の霞んだ彼方には、合併して焼津市となった旧大井川町の大井川港があります。

現在の焼津市は、面積70.5km²、人口は14万7千人、年間平均気温16.5℃の温暖な都市です。

ごあいさつ

代表取締役社長 赤阪 全七



新年明けましておめでとうございます。

平素は格別のご愛顧を賜り心より感謝申し上げます。

弊社は、昨年5月に創業100年を迎えました。創業者赤阪音七が当地焼津で漁船用発動機の据付や修理を手掛け、その仕事振りが評価されて焼津生産組合の機関修理工場を任せられ、同組合の支援を受けて個人で創業しましたが1910年（明治43年5月）のことであり、ここに創業100年を迎えることが出来たことは皆様の格別なお引き立てによるものと深謝申し上げます。

創業後まもなく注水式焼玉エンジンの設計、製造に成功、1933年にディーゼルエンジンの開発・製造・販売へと歩を進めて以来、漁業界の進展と共に業容を拡大してまいりました。100年の歴史のちょうど中間点である1960年には三菱重工業(株)殿とライセンス契約を締結してUE形2ストローク機関の製造販売を開始し、今日までに1,397台を製造してまいりました。弊社オリジナル4ストローク機関8,494台と合わせ約1万台、12,120MW（1,648万馬力）を世に送り出してまいりました。100年の歴史を振り返りますと、第一次、第二次と続いたオイルショック、造船不況など幾度かの苦境を乗り越えることが出来た原動力は、多くのお取引先様をはじめ、関係官庁、各種団体の皆様の温かいご支援の賜物と衷心より感謝申し上げる次第です。

この創業100年をスタートに次の100年に向けて、地球に優しく人に優しい企業活動を目指し、改正省エネ法の施行やサプライサイクル条約の発効等を前向きに捉えて環境マネジメントシステムを経営に取り入れることを決めました。昨年2月に環境経営マネジメントシステム「エコステージ1」の認証を取得、続いて10月には「エコステージ2-CMS（化学物質管理システム）」の認証を取得し、更なるステップアップを目指して活動を進めております。また、主力製品は、軽量コンパクト・省燃費・省潤滑油消費・国際海事機関によるTier II 対応等の安全運航や環境を重視した新機種投入を進めますと共に、DPF（排ガス脱塵装置）・SCR（排気ガス脱硝装置）等の環境対応装置開発の取り組みも進めております。メーカーとして、地球環境を考えたシステムを会社経営の中に取り込むことがこれからの時代に適合して行くものと考えます。

弊社の技術情報誌である本誌「ニュースアカサカ」も1956年の創刊以来55年、本号で116号を重ねるに至りました。創業100年を記念して例年を超えたボリュームでお届けいたします。30年前の創業70周年記念号以降をつなぎ、現在の弊社の状況から、将来に向けた取り組みの一部を紹介させていただいております。創業者赤阪音七の「決して船主や乗組員に迷惑をかけるような機械を造ってはならない。皆さんに喜ばれるようなエンジンを造りたい」という遺訓と先人たちの物造りに対する熱い思いを胸に次の100年に向け、「感謝のこころ」を忘れず「100年技術、更なる進化へ」を合言葉に社会的責任を全うするよう決意を新たに邁進してまいります。

皆様のご健勝と益々のご活躍を祈念申し上げますと共に、一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。